

県内の患者数

矢印は、前週の数に対して 増加 減少 横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	1	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	34	32	ヘルパンギーナ	22	27
咽頭結膜熱	11	11	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	94	62
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	59	26	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	197	167	流行性角結膜炎 (はやり目)	11	6
水痘	45	33	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	24	46	無菌性髄膜炎	1	0
伝染性紅斑 (りんご病)	4	5	マイコプラズマ肺炎	5	6
突発性発しん	36	43	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い
感染症

- 感染性胃腸炎
- 流行性耳下腺炎
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

- 感染性胃腸炎は、報告数 197 件(前週報告数 167 件)と増加。地区別では、人吉、宇城、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 25 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 流行性耳下腺炎は、報告数 94 件(前週報告数 62 件)と増加。地区別では、有明、菊池、水俣に多く報告がみられる。年齢別では、4歳の16 件を最多に、主に 10～14 歳以下からの報告である。
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は、報告数 59 件(前週報告数 26 件)と増加。地区別では、菊池、天草、熊本に多く報告がみられる。年齢別では、6歳の 11 件を最多に、1 歳以上からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジ ア肺炎
熊本市保健所	0	10	3	31	42	18	8	2	12	0	13	39		9		1	4	
山鹿保健所	0	0	0	1	10	5	4	0	3	0	0	0	*	*				
菊池保健所	0	11	1	9	26	7	0	0	4	0	1	12						
阿蘇保健所	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
御船保健所	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	0	5	0	2	24	4	2	0	0	0	0	9						
水俣保健所	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	5	*	*				
人吉保健所	0	0	0	2	27	1	2	0	2	0	1	6	*	*				
有明保健所	0	3	6	4	27	7	0	0	7	0	0	16		2				
宇城保健所	0	2	0	2	20	1	2	0	4	0	1	3						
天草保健所	0	3	1	8	13	1	6	2	3	0	6	4					1	
計	0	34	11	59	197	45	24	4	36	0	22	94	0	11	0	1	5	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11 月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	34	3	9	19	3																	
咽頭結膜熱	11			2	2	5	2															
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59			2	2	5	6	5	11	10	4	7	4	1	2							
感染性胃腸炎	197	3	22	25	24	17	12	15	13	15	7	14	14	4	12							
水痘	45	1	5	12	7	6	6	5	2			1										
手足口病	24		1	5	7	4	3	1	1			1	1									
伝染性紅斑	4				2				1				1									
突発性発しん	36		13	21	2																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	22		7	4	3	1	3	1	1	1		1										
流行性耳下腺炎	94		2	6	10	14	16	10	13	10	5	2	4		2							
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	11						1							3	3	2		1	1			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1			1																		
マイコプラズマ肺炎	5			4									1									
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

ありませんでした。

A群溶血性連鎖球菌咽頭炎



A群溶血性連鎖球菌咽頭炎の発生報告は例年夏には報告数が少なく、秋から冬にかけて増加傾向が見られます。今週は先週の2倍以上59件の報告がありました。2～5日の潜伏期のあと、突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。通常は1週間以内に症状はおさまりませんが、のどの点状出血や、莓舌(莓の表面のように赤くぶつぶつになる)が見られることもあります。また、しょう紅熱(顔や体に点状紅斑や皮疹等が出現する)を起こすこともあります。腎炎などの合併症を起こすこともありますので、症状があったら早めに医療機関を受診してください。患者のせきやくしゃみから感染しますので、兄弟間や、学校・幼稚園・保育園など集団生活施設内での感染も多く見られます。予防には患者との接触を避けること、うがい・手洗いなどの一般的な予防法を励行することなどが重要です。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課